

34期 高2 今後の授業展開について【英国数】

【英語科】

組	教材	進め方
1・4組	フォレスト・マスタートドリル（標準編）・解いてトレーニング	・フォレストで文法理解⇒「解いてトレーニング」のレベル1⇒マスタートドリル（標準編）⇒確認テスト
	Take Up（長文読解） ・Unit 6【科学・生物】 14. Energy Everywhere ・Unit 7【文化・国際】 15. What is “Polite Fiction”?	①自力で問題を解く ②辞書を使って未知の単語を調べ、問題再考 ③答え合わせ・ポイント・考え方説明 ④本文シートで和訳 ⑤授業で説明・音読 ⑥その文章中の重要表現を含んだ文の暗唱 ⑦各レッスン終了後重要単語を虫食いにしたシートでディクテーション実施 ⑧そのディクテーションシートで確認テスト
	Smart Reader（英文解釈） 意味のまとまりをつかむ「7.～9.」	例題説明⇒実戦問題解答⇒答え合わせ・音読・説明
	Touch 10（センターリスニング教材）	リスニング問題解答⇒スクリプト音読⇒ペアワーク
3・6組	フォレスト・マスタートドリル（標準編）【比較までは終了】・解いてトレーニング	・フォレスト例文のポイント説明⇒音読・暗唱・確認テスト⇒基準点に達しない場合は個別指導 関係詞・仮定法終了次第⇒「解いてトレーニング」のレベル1を「仮定法」まで1周⇒確認テスト⇒基準点に達しない場合は個別指導
		・短めの文章を精読⇒音読・説明⇒その文章中の重要表現を含んだ文の暗唱⇒その文章中の単語熟語の確認テスト
	Touch 10（センターリスニング教材）	リスニング問題解答⇒スクリプト音読⇒ペアワーク
2・5組	フォレスト・マスタートドリル（標準編）・解いてトレーニング	・フォレストで文法理解⇒「解いてトレーニング」のレベル1⇒マスタートドリル（標準編）⇒確認テスト
	Take Up（長文読解） ・Unit 6【科学・生物】 14. Energy Everywhere 15. Internal Alarm Clocks ・総合問題 19. The Importance of Listening	1・4組の進め方に同じ
	Touch 10（センターリスニング教材）	リスニング問題解答⇒スクリプト音読⇒ペアワーク
	Smart Reader（英文解釈） 文の構造をつかむ「15.～18.」	例題説明⇒実戦問題解答⇒答え合わせ・音読・説明

7・8組	フォレスト・マスタートドリル(実戦編) Grammar Collection	・フォレストで文法理解⇒マスタートドリル(実戦編) ⇒確認テスト
	Take Pleasure(長文読解) ・Unit 5【教育・人生】 13. Multicultural Education ・Unit 6【言語・コミュニケーション】 15. The Benefits of Bilingualism ・Unit 7【科学・生物】 17. Why Are Humans “Naked Apes”?	1・4組の進め方に同じ
9組	システム英作文(毎時間7～8題)	1題につき2人ずつ英訳したものを板書⇒ネイティブ による添削⇒日本人教師からの補足説明
	Make Your Ascent(長文読解) ・Unit 2【言語・コミュニケーション】 6. 言語・コミュニケーション ・Unit 3【時事・社会】 9. 時事・社会 ・Unit 4【科学・生物】 11. 科学・生物	1・4組の進め方に同じ

【国語科】古文・漢文の今後の対策について

◎【冬休みの課題】

●1組～6組

この年末までに最低限押さえておくべき文法事項(助動詞全般・敬語)を振り返り学習できるように、課題文章と文法チェック問題に取り組みさせる。古典文法と漢文の基本句形はすでに学習済みであるが、個々の文法事項をどのように活用させればよいかはまだ繋がらない生徒が多い。冬休みの授業までに、課題文章を取り上げながら、自立学習の取り組み方も含めてアドバイスを行う。また、中間層は理系のクラスに多いため、理系にも同じ課題をだすことにし、基礎基本の定着をはかる。

冬休みまでに身につける力

- ・用言・助動詞・敬語の文法事項、漢文の基本句形の再確認
- ・基礎的な文章内容の捉え方

●Ⅲ類レベルの7組～9組の生徒

自学自習できる生徒も多く、基礎文法事項も理解している生徒も多いが、まだ語彙の習得は不十分なところもなるので、課題は若干問題数を多くし、より実践的な文章題になれてもらうことを目的とする。

冬休みまでに身につける力

- ・習得した文法事項を総合的に内容理解に繋げる練習
- ・より高度な文章の理解に努める

◎【冬休みの補習について】

11月の進研模試の結果と2学期学期成績の結果から、成績不振者に関しては指名補習とし、基本文法事項の再確認を行う。それ以外の生徒に関しては希望補習とし、センター対策問題を利用し、より実践的な力をつけてもらう。それぞれ3日間の予定。

◎【3学期について】

●1組～6組

宿題考査の成績不振者に関しては別途、指名による放課後補習を行う。

古文は模試や入試問題になれてもらうために、比較的平易な模試過去問や入試問題を使いながら授業内で演習を行う。

漢文については、句形はほぼ終えたが、漢字の語彙理解が不十分なところや、文章読解の演習が不十分なため、できるだけ多くの漢文の文章題に取り組み、センターの基本レベルの理解まで到達させる。

冬休みまでに身につける力

- ・模試の過去問や入試問題で読み方や解き方のコツを身につける。

●7組～9組

古文はセンター対策問題などを授業で扱いながら、実践的な理解習得を目指す。漢文は文章題の演習が不十分なため、短い文章題で実践する。また、宿題考査の成績不振者に関しては別途、指名による放課後補習を行う。

冬休みまでに身につける力

- ・より入試問題に近い文章題で実践的な解法を身につける。

【数学科】11月進研模試の結果分析とその対応について

- 文系・未来創造コース（1・2・3組）

小問集合と各設問の（1）で得点できる問題を増やす。

- 文系・WFコース（7・9組）

標準的な問題の解法を徹底する。

	短縮期間～冬休み	3学期	春休み
1・2組	数学Ⅱ「微分と積分」 数学B「数列」	数学Ⅰ「2次関数」 数学A「場合の数・確率」	数学Ⅰ「図形と計量」
3組	数学Ⅰ「図形と計量」 数学Ⅱ「図形と方程式」「三角関数」	数学A「場合の数・確率」 数学Ⅱ「指数関数・対数関数」	数学Ⅱ「微分と積分」

7組	数学Ⅱ「微分と積分」 数学B「数列」	数学Ⅰ「2次関数」 数学A「場合の数・確率」	数学Ⅰ「図形と計量」
9組	数学Ⅱ「微分と積分」 数学B「数列」	数学B「ベクトル」	数学ⅠA全範囲

2 学期期末考査で基準点に満たない者は放課後に個別に指導する。

3 学期宿題考査で基準点に満たない者は放課後に個別に指導する。

3 学期授業内で小テストを行い、基準点に満たない者は放課後に個別に指導する。(三木・渡部)

- 理系(4・5・6・8組)

教科書『数学Ⅲ』を進めているため、授業の理解を徹底する。

	短縮期間～冬休み	3 学期	春休み
4・5・8組	数学Ⅲ「極限」	数学Ⅲ「微分」	数学Ⅲ「微分」
6組	数学Ⅲ「微分」	数学Ⅲ「積分」	数学Ⅲ「積分」

2 学期期末考査で基準点に満たない者は放課後に個別に指導する。

3 学期宿題考査で基準点に満たない者は放課後に個別に指導する。

授業では問題集 2 ページ分の内容ごとに確認テストを行い、基準点に満たない者には課題を課し、再テストを行う。再テストに合格しない場合は補習をし、合格するまで行う。(三木・渡部)

- 理系・一貫 WF(9組)

数学Ⅲの演習に入り、標準的問題の解法を徹底する。

短縮期間～冬休み	3 学期	春休み
数学Ⅲ「積分」	数学Ⅲの基本の確認	数学ⅠAⅡB全範囲

分野ごとに確認テストを行い、基準点に満たない者には課題を課し、再テストを行う。(渡部)